



令和6年11月1日
目黒区立中町保育園園長

朝夕の風が冷たく感じる季節になりました。園庭の桜の木も紅葉し落ち葉を拾ったり、集めたりして遊ぶ姿が見られます。散歩先の中央緑地公園では様々な種類のドングリを見つけて持ち帰り「いっぱい拾ったよ」と見せてくれました。図鑑で種類を調べたり、遊びに使ったりしていくことでしょう。

先日4、5歳で芋ほり遠足に行った時のことです。5歳児が芋の周りの土をかきわけ次々と掘っています。「前は（昨年の4歳児の時）1つしか掘れなかったけど、今日はいっぱい掘れた」と言っています。それはどうしてなのか聞いてみると「縄跳び頑張ったからかな」とのこと、運動会の取り組みで縄跳びの成果が、芋掘りも頑張ることができた、と感じていることがわかります。以前の自分と比較して自己評価できる心の育ちを感じました。また5歳児は稲刈りを終えて、手作業で脱穀をしました。ホールに刈った稲の束を置き、ザル、割りばし、お椀を使っての脱穀方法を伝えると、早速道具を手にして取り掛かりました。初めは慣れない手つきで、どの道具を使えばたくさん採れるかを考えながら試していましたが、自分にやりやすい方法を見つけてコツをつかんできたようで、ザルの目に稲穂を通して引っ張ると稲から籾が外れ「たくさん採れておもしろい」「全部で一万個くらいかな」など時折会話しながら、約1時間にわたる作業を集中して行い、やり終えると「大変だった…」とつぶやいていました。収穫した米をおにぎりにして食べる日を楽しみに、今はすり鉢と野球ボールを使い、もみすりを行っています。1日行ってもみすりカレンダーにシールを貼ります。目に見えて成果がわかることでやる気と期待につながることでしょう。そして、米作りを通して米のできる過程を知り、食べ物や作る人に対する感謝の気持ちも育つことを願っています。

* 行事予定 *



- ・近隣園との交流（5歳児）
- ・焼き芋会（全園児）
- ・交通安全教室（3・4・5歳）
- ・歯科検診（全園児）
- ・身体計測
- ・避難訓練
- ・統合説明会

栄養士より

「料理を作るのって楽しいね」

保育園では『食べることが大好き』になるように食育活動を行っています。食育活動は幅広いのですが、活動の一つに調理保育があります。食材を見たり触れたりすることから始まり皮むき、ちぎる、ピーラーや包丁を使用した活動の経験も重ねています。先月は、おひさま組の子どもたちがシチューの人参を包丁でさいの目切りにしました。初めての包丁に緊張した表情で「このくらいの大きさかな」「ねこの手できてる」と確認しながらスティック状の人参を、一生懸命に小さく切っていました。給食を食べている時に「みんなが人参を切ってくれたから美味しいシチューができたよ。お手伝いありがとう」と伝えると「また切ってあげるね」「簡単だったよ」と得意な表情で答えていました。調理保育を通して、作ったものを食べる喜びを感じ、食への興味関心を広げていきたいと思えます。

戸外活動の様子

ちゅうりっぷ組（2歳児）

「タイヤとマットを使って」

園庭でタイヤを並べたり、マットをのせてトランポリンのように設定しておく、タイヤを這い這いで渡っています。タイヤの大きさによってグラグラと不安定になるところを腕と足に力を入れて落ちないように体を支えています。集中して渡った後はマットの上に寝転がって休息したり、友だちや保育士と一緒にトランポリンで跳んだりしています。最初は保育士と向かい合わせになって跳んでいましたが、次第に友だちと一緒に跳びながら同じ揺れを楽しんでいました。バランスが崩れそうになると「わぁ」と言いながら顔を見合わせて笑っています。マットが崩れると自分達で「こうしてみるのはどう」とマットやタイヤを動かして考えながら新たに組み立てようとしています。



ほし組（3歳児）

「走ろうよ」

散歩に行くと、虫探しを楽しんだり、広いスペースで思い切り走ることを楽しんでいます。最近はおしぼ取りに夢中で、おしぼを付ける子、追いかけてい子がそれぞれに走り始めます。追いかけている子がスピードを上げ、おしぼを付けた友達との間隔が短くなってくると「よし、つかむぞ」とばかりに、おしぼを目がけてサッと手を伸ばしています。おしぼを付けている子も、友達が近づいてくるのを感じるとスピードを上げたり、取られることがわかって止まったりしています。春の頃に比べて走るスピードもずいぶん速くなり、身かわすのも上手になりました。何回戦もして「先生、僕おしぼを5個も取っちゃったよ。走るのが速かったでしょ」と得意げな表情を見せていました。



つき組（4歳児）

「一緒に長縄跳んでみようよ」

運動会では一人で跳んでいた長縄跳びを「一緒に跳んでみようよ」と友達を誘っていました。数人で「せーの」とタイミングを合わせてジャンプをしますがひっかかってしまいます。「もう一回やってみよう」という提案に何回か繰り返していると「ほくもやってみたい」と興味を持った子がやって来ました。そこで並ぶ順番を変えてやってみると1回跳ぶことができたので「やったー。みんなもやってみよう」と誘い、友達も「やってみたい」と続々と集まってきました。「せーの」と保育士が大きく縄を回すと真剣な表情で跳んでいます。引っかけなくても「せーの」の掛け声に合わせて、集団跳びへの挑戦を楽しんでいます。



おひさま組（5歳児）

「逆上がりに挑戦してみよう」

運動会で運動遊びを披露した経験から鉄棒や縄跳びなどを引き続き楽しんでいます。鉄棒では「先生見て」と足抜き回りや前回りだけではなく、友達がやっていた逆上がりに挑戦し足を上に蹴り上げる時に蹴りやすいように、保育士が足を持ち上げる補助をすると成功しました。繰り返し練習していくと鉄棒に体を引き付けられるようになり補助がなくてもできるようになっています。子ども同士で「足を下にしたらグルっと回れるよ」と教え合う姿もあります。それを見た周りの友達も刺激を受けて逆上がりに挑戦する子が増えています。

